Pioneer sound.vision.soul

DVD 5.1ch サラウンドシステム

HTZ-232DV
HTZ-232FG

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例)   1 2 4 など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

DVDレコーダー　→　本機

DVD-R/-RW
ディスク

※DVDレコーダーのビデオモードで記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ(録画終了処理)してください。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意:**

  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- キャスター付きの場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

異常時の処置

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

手を挟まれないよう注意

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の放熱について

- 本機を設置する場合には、壁から10ｃm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から10ｃm以上、背面から10ｃm以上、側面から10ｃm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 電源の供給を完全に停止するためには､電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

- 機器本体のSTANDBY/ON ボタンで電源を切っても､電源の供給は停止しません｡電源の供給を完全に停止するためには､電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間､この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください｡火災の原因となることがあります。

もくじ

1 はじめに

2 ディスクの再生

3 ラジオを聞く

4 いろいろな機能を使う

5 サラウンド再生

6 タイマーを使う

7 DVD の初期設定

8 サラウンドの設定

9 システムの設定

10 他機器の接続と設定

11 その他

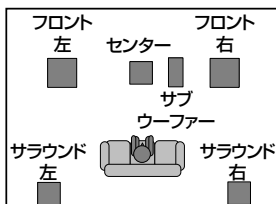
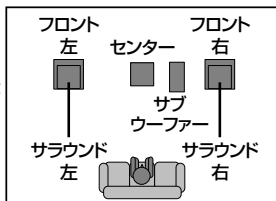
サラウンドシステムを楽しむ前に

ドルビーデジタル、DTSなどのソースを迫力あるマルチチャンネルでお楽しみいただくために、別添のシステムセットアップガイドをご覧になり下記の順序で接続やスピーカーの配置を行ってください。

STEP 1 箱を開けて付属品を確認する

STEP 2 接続する
スピーカー、テレビ、アンテナ、などを本機と接続します。

STEP 3 スピーカーの設置
別添のスピーカー設置ガイドもご覧になり「ノーマルサラウンド5SPOT設置」か「フロントサラウンド3SPOT設置」か決めます。

ノーマルサラウンド
5SPOT設置

フロントサラウンド
3SPOT設置

STEP 4 電源を入れる

STEP 5 再生する

「テストトーンで調整する」へお進みください。また、適切な音場効果を得るために、「スピーカー」(51ページ)もあわせてご覧ください。

テストトーンで調整する

入力をDVD/CDに切り換えてから、以下の操作を行ってください。

1. **■ボタンを押して、再生中のディスクを停止させます。**

2. **シフト+テストトーンボタンを押します**

以下の順番で、各チャンネルのテストトーン(ザーという音)が、自動的に切り換わって出力されます。

3. **お好みの音量に調整します**

4. **⇧⇩で、テストトーンが出力されているスピーカーの出力レベルを調整します**

各スピーカーからの音が同じ大きさに聞こえるように調整してください。チャンネルレベルは±10dBの範囲で調整できます。

5. すべてのスピーカーの調整が終了したら、決定ボタンを押します

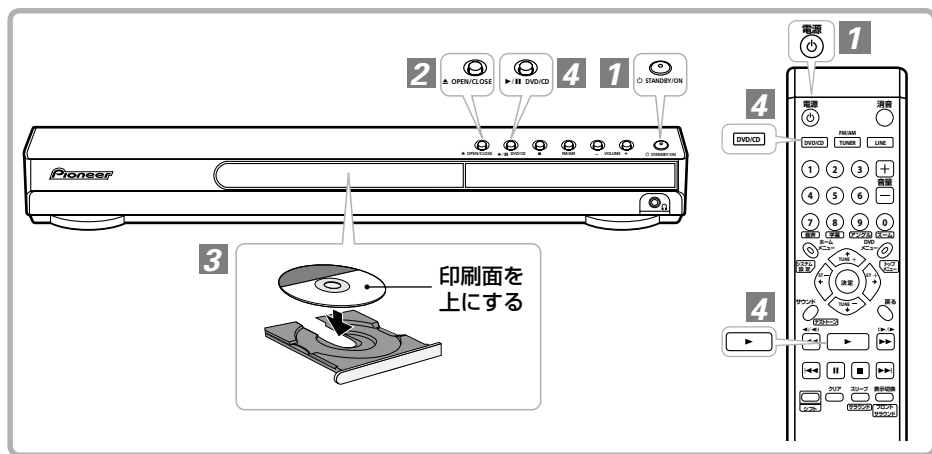
テストトーンが止まり、出力レベル調整を終了します。

メ モ

- ▼ サブウーファーのテストトーンは、周波数が低いので実際のレベルより小さく聞こえます。
- ▼ サブウーファーの調整は音楽や映画ソースなどを実際に使って適切な値に調整してください。
- ▼ スピーカーの出力レベルの詳細な設定については53ページをご覧ください。
- ▼ サラウンドモードがSTEREOのときは、センターおよびサラウンドスピーカーからはテストトーンが出力されません。
- ▼ ヘッドホンを挿入しているときは テストトーンを出力することはできません。
- ▼ 録音モードをオンに設定しているときは、テストトーンを出力することはできません。

注 意

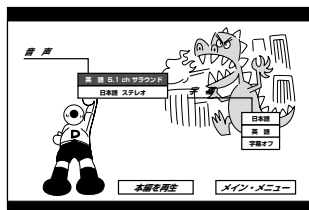
- ◆ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

あらかじめテレビの電源を入れて、テレビの入力を切り換えておいてください。

メ モ

▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるDVDもあります。

メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下のとおりです。

1. **リモコンの ⇧⇩⇦⇨ で選択して決定ボタンで決定します。**

メ モ

▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。
▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンで番号を選んで再生できるものもあります。

止めたところから再生する（リジューム機能）

DVD-Video VR DVD-RW Video CD CD(R/RW) DivX® では、本体の表示窓に[RESUME]と表示され、停止したところを記憶します。
■ボタンを押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します(リジューム機能)。また、ディスクを取り出してもDVD5枚、ビデオCD1枚分の停止した場所を記憶しています(ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に■ボタンをもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

メ モ

▼ VR DVD-RW CD(R/RW) では、ラストメモリー機能が働きません。
▼ ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると、ビデオCDでは前のディスクのメモリー、DVDでは一番古いディスクのメモリーが消去されます。
▼ ラストメモリーを記憶させたくない場合は、**■ ボタン**を押さずに **▲ ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。
▼ リジューム機能は、ディスクを取り出すと解除されます。また、電源を切ったり、入力をDVD/CD以外に切り換えたときも解除されます。

電源を切る

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。

1. 電源 本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[GOOD BYE]表示が消えていることを確認してください。

Q&A

Q1:電源が入らない！
→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？（システムセットアップガイド）

Q2:映像が映らない！
→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？（システムセットアップガイド）
→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3:リモコンで操作できない！
→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 7m の範囲でのみ操作することができます。
→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください（13 ページ）。

Q4:ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！
→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。
→ ディスクの表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョン No. が一致していますか？本機で再生できるリージョン No. は「2」と「ALL」のみです。（62、65 ページ）
→ 本機の内部に結露が付いている可能性があります。結露を除去してください。（76ページ）

Q5：音が出ない！
→ 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。
→ ヘッドホンが挿入されていませんか？ヘッドホンを抜いてください。

Q6：フロントスピーカーとサブウーファーからしか音が出ない！
→ 接続が正しくされているか、別紙の「システムセットアップガイド」を参照してください。
→ **サラウンドボタン**を押して、マルチチャンネル再生に切り換えてください。（39 ページ）
→ TUNER または LINE 入力になっていませんか？ DVD/CD 入力に切り換えてください。（10 ページ）

はじめに 1 再生できるディスクの種類

・本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
・下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD	DVD ビデオ		DVD-R	DVD-RW
ファイル / フォーマット	DVD-Video		DVD-Video	DVD-Video VR DVD-RW
CD	ビデオ CD	CD	CD-R	CD-RW
ファイル / フォーマット	Video CD	CD(R/RW)	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG DivX®	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG DivX®
フジカラー CD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE		：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。	
コダックピクチャー CD				

DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

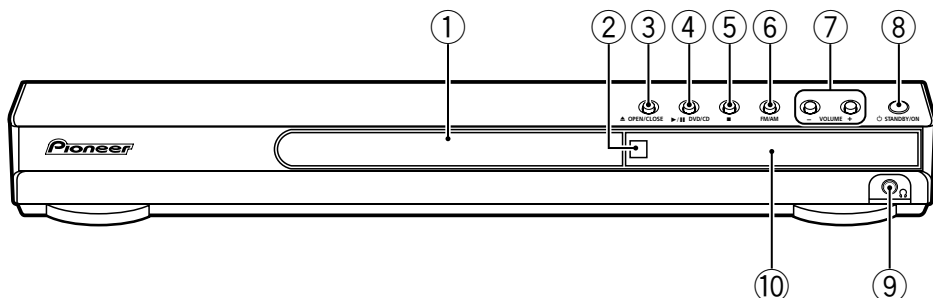
コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類
DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、SACD、CD-G、リージョンNo.が「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

本文中の表記について

この取扱説明書では、本文中に記号が記載されています。記号には次のような意味があります。

- DVD-Video 市販のDVDビデオ、またはビデオモードで記録されたDVD-R/RW
- VR DVD-RW VRモードで記録されたDVD-RW
- Video CD ビデオCD
- CD(R/RW) 市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
- WMA/MP3 WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW
- JPEG JPEGファイルが記録されたCD-R/RW
- DivX® DivXファイルが記録されたCD-R/RW

本体

① **ディスクテーブル**

② **リモコン受光部**
約7m左右30°以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作します。

③ **▲ OPEN/CLOSEボタン**
ディスクテーブルを開閉します。

④ **▶/❚❚ DVD/CDボタン**
ディスクを再生/一時停止します。

⑤ **■ ボタン**
ディスクを停止します。

⑥ **FM/AMボタン**
ラジオを聞いたり、AMとFMを切り換えます。

⑦ **VOLUMEボタン**
音量を調節します。

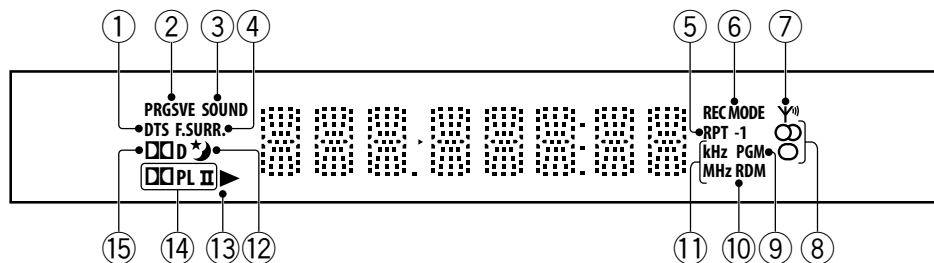
⑧ **⏻ STANDBY/ONボタン**
電源を入れます/切ります。

⑨ **ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16Ω～50Ω（推奨32Ω）、直径3.5Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑩ **表示窓**

注 意

◆ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。
◆ 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

表示

① DTS信号を再生しているときに点灯します。

② 映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯します。（45ページ）

③ 高音と低音の調整を行っているとき、SFCモードを選択しているとき、低音を強調しているときに点灯します。（41、42ページ）

④ フロントサラウンドモードを選択しているときに点灯します。（38ページ）

⑤ タイトル/ディスクリピート再生時にはRPTと点灯し、チャプター/トラックリピート再生時は、RPT-1と点灯します。(25ページ)

⑥ 録音モードがオンのときに点灯します。（56ページ）

⑦ FM/AM放送受信時に点灯します。

⑧ FM放送でステレオ受信していると、ＯＯが点灯します。

FM放送の受信設定をモノラルに設定する、またはモノラル放送を受信しているとＯが点灯します。（21ページ）

⑨ プログラム再生時に点灯します。(27ページ)

⑩ ランダム再生時に点灯します。(26ページ)

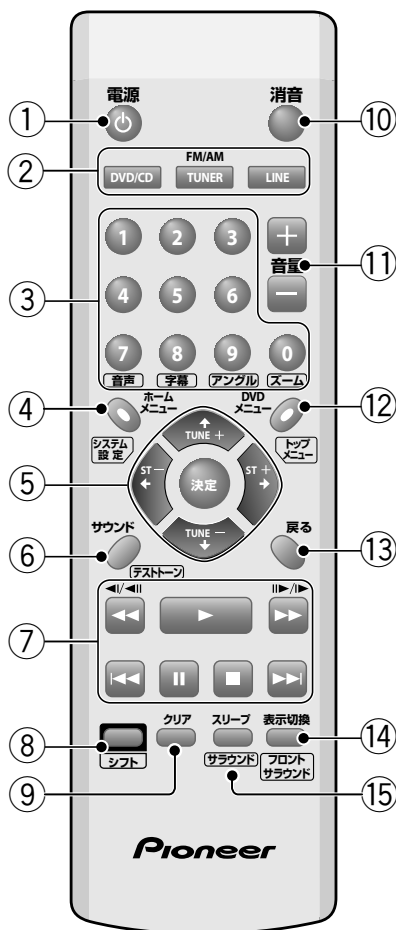
⑪ AM放送局の周波数が表示されているときにkHzが点灯します。（20ページ）
FM放送局の周波数が表示されているときにMHzが点灯します。（20ページ）

⑫ スリープタイマー設定時に点灯します。(43ページ)

⑬ ディスクを再生しているときに点灯します。

⑭ ドルビープロロジック II 処理が行われているときに点灯します。（40ページ）

⑮ ドルビーデジタル信号を再生しているときに点灯します。

リモコン

① ⏻ 電源ボタン

② DVD/CDボタン

DVDやCDを再生したり、一時停止するときに使用します。

FM/AM TUNERボタン

ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切り換えるときに使用します。

LINEボタン

本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

③ 数字ボタン

音声ボタン（33ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。言語、または音声を切り換えるときに使用します。

字幕ボタン（32ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。DVDの字幕言語を切り換えるときに使用します。

アングルボタン（33ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。DVDのアングルを切り換えるときに使用します。また、JPEGの画像を回転させるときにも使用します。

ズームボタン（32ページ）

シフトボタンを押しながら使用します。

④ ホームメニューボタン

ホームメニュー画面を表示したり、操作/設定の途中で画面をオフにします。

システム設定ボタン

シフトボタンを押しながら使用します。各種システム設定を行います。

⑤ ⇧ ⇩⇦ ⇨/決定ボタン

項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面で、カーソルを上下左右に移動し、決定ボタンで決定するときに使用します。

TUNE＋/－ボタン（20ページ）

ST＋/－ボタン（22ページ）

⑥ **サウンドボタン（41、42ページ）**
サウンドモードの設定や調整を行うときに使用します。

テストトーンボタン（8ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

⑦ **► ボタン**
ディスクを再生するときに使用します。

■ ボタン
ディスクを停止するときに使用します。

II ボタン
ディスクを一時停止するときに使用します。

◄◄/◄I/◄II ボタン（18ページ）

►►/II►/I► ボタン（18ページ）
再生中は映像や音声の早送り / 早戻しをします。一時停止中に押すとコマ送り / コマ戻し再生を行い、押し続けるとスロー再生をします。

I◄◄ ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの始めに戻ります。
►►I ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの次に進みます。

⑧ **シフトボタン**

⑨ **クリアボタン**
プログラム再生で設定した内容を取り消します。

⑩ **消音ボタン**
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑪ **音量ボタン**

⑫ **DVDメニューボタン**
DVD のメニュー画面を表示するときに使用します。また、WMA/MP3 JPEG VR DVD-RW Video CD DivX® では、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

トップメニューボタン
シフトボタンを押しながら使用します。DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

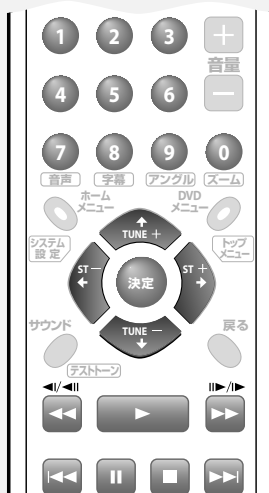
⑬ **戻るボタン**
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑭ **表示切換ボタン(34ページ)**

フロントサラウンドボタン（38ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

⑮ **スリープボタン(43ページ)**
スリープタイマーの設定を行います。

サラウンドボタン（40ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

再生

再生します

- DVD-Video では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 10 ページをご覧ください。
- Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 34 ページをご覧ください。
- WMA/MP3 では、ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- DivX® と、WMA/MP3 または JPEG が同じディスクに記録されているときは、まずはじめに、どのフォーマットを再生するかテレビ画面で選択します。

停止

停止します

一時停止

一時停止します

- 通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または ıı **ボタン**を押します。

頭出し（スキップ）

再生中に ▶▶I（または I◀◀）ボタンを押します

• 押した回数だけチャプター / トラックをスキップします。

早送り / 早戻し再生

再生中にリモコンの ▶▶（または ◀◀）ボタンを押します

• ボタンを押すたびに速さを切り換えることができます（DivX® では速さを切り換えることはできません）。
• 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生

再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または ◀I/◀II）ボタンを押します

• コマ送り / コマ戻し再生は音声が出力されません。
• コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクもあります。
• 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
• コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
• 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。
• Video CD　DivX® では、コマ戻し再生をすることができません。

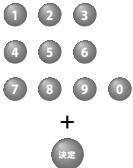
スロー再生

再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または ◀I/◀II）ボタンを押し続けます

• 画面にスローの表示がでたら、手を離してもスロー再生を続けます。
• スロー再生中、ボタンを押すたびに速さを切り換えることができます。
• スロー再生は音声が出力されません。
• スロー再生ができないディスクがあります。
• 通常の再生に戻すには ▶ ボタンを押します。
• Video CD　DivX® では、逆方向のスロー再生ができません。

ダイレクトサーチ

タイトル / チャプター / トラックを指定して再生することができます。

1. 数字 (0～9) ボタンでタイトル / チャプター / トラック番号を入力して、決定ボタンを押します

再生中にできるダイレクトサーチの種類

DVD-Video	VR DVD-RW	Video CD　CD(R/RW)
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

- ダイレクトサーチができないディスクもあります。
- DVD-Video のチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVD-Video は**タイトルサーチ**になります。

Q&A

Q1: Video CD CD(R/RW) が再生できない。

→ パソコンで作成された Video CD CD(R/RW) は再生できないことがあります。

Q2: WMA/MP3 が再生できない。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、または 48kHz で記録されていない WMA/MP3 ファイルを再生している。
→ 可変ビットレート (VBR) またはロスレスエンコーディングの WMA ファイルを再生している。
→ DRM コピープロテクト（保護）のかかった WMA ファイルを再生している。

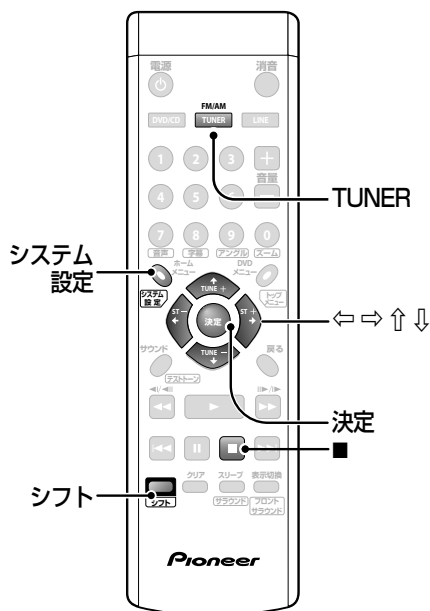
Q3: JPEG が再生できない。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ 総ピクセル数が3072 ×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。
→ プログレッシブ JPEG ファイルは再生できません。

Q4: DivX® が再生できない。

→ DivX®5、DivX®4、DivX®3、DivX®VOD フォーマット以外のファイルは再生できません。

放送局を受信する

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。別紙の**「システムセットアップガイド」**を参照して、アンテナを接続してください。

1. TUNER ボタンを押します

FM/AM TUNER

ラジオが聞ける状態になります。

FM　76.00 MHz

AM　522 kHz

押すたびに、FMとAMが切り換わります。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます

周波数の合わせ方（チューニング）には、以下の３種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押し続けて、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を１回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える"AUTO"に設定されています。

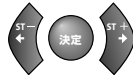
1. FM/AM TUNER

TUNERボタンを押してFM放送を受信します

2. シフト ＋ システム設定

シフト+システム設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨で"FM MODE"にしてから、決定ボタンを押します

FM MODE

現在の設定が表示されます。

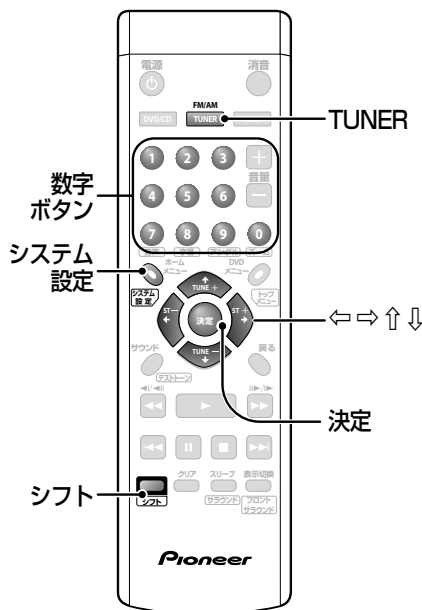
4.

⇧ ⇩で"FM MONO"にしてから、決定ボタンを押します

表示部に、○が点灯します。
FMステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、"FM AUTO"にします。

受信した放送局を記憶する

FM/AM放送合わせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押し、記憶したい放送局を受信します

放送局の受信のしかたは、20ページを参照してください。

2. シフト ＋ システム設定

シフト+システム設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "ST. MEM." にしてから、決定ボタンを押します

ST . MEM .

4.

⇧ ⇩ で、記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは 1 ～ 30 まであります。

5. 決定

決定ボタンを押して記憶させます

記憶した放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. TUNER ボタンを押します

FM/AM
TUNER

ラジオが聞ける状態にします。

2. ⇦ ⇨ で、記憶したステーションを選びます

ST – 1

2 秒後に切り換わります。

FM 76.00 MHz

リモコンの数字ボタンで呼び出す

1. ステーション番号と同じ数字ボタンを押します

1 2 3
4 5 6
7 8 9 0

（例）ステーション２　：2

ステーション18　：1 8

2. 決定ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定ボタン**を押さなくても選ぶことができます。

注 意

◆ すでに記憶されているステーションに違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
◆ 停電時など、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

プレイモード画面を表示する

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [プレイモード]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧ ⇩⇦ ⇨ と決定ボタンでそれぞれの項目を選択して、決定します

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください。(34ページ)

指定した部分を繰り返し再生する(A-Bリピート)

DVD-Video / VR DVD-RW / Video CD / CD(R/RW)

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ(上記)、[A-Bリピート]を選択します

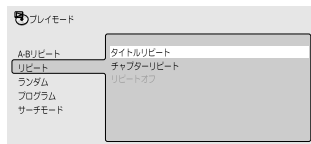
2. [A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押します

3. [B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押します

A-Bリピート再生を開始します。
解除するときは、[**オフ**]を選択します。

注 意

◆ 異なるタイトルをまたいでA-Bリピート再生をすることはできません。
◆ A-Bリピート再生ができないディスクもあります。

繰り返し再生する（リピート）

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（24ページ）、[リピート]を選択します

2. リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

- タイトルリピート
- ディスクリピート
- トラックリピート
- チャプターリピート
- プログラムリピート

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは[**リピートオフ**]を選択します。

メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。

注 意

◆リピート再生ができないディスクもあります。

順不同に再生する（ランダム）

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（24ページ）、[ランダム]を選択します

2. ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムオール（ランダムオン）**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。

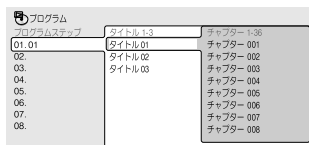
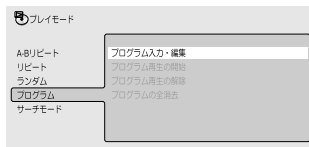
ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは、**[ランダムオフ]**を選択します。

メ モ

▼ ディスクを停止するとランダム再生は解除されます。
▼ ランダム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、本機が順不同に次のタイトルなどを選んで再生します。
　また|◀◀ **ボタン**を押すと、現在再生中のタイトルなどの始めから再生します。

注 意

◆ ランダム再生できないディスクもあります。
◆ ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

＊ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1. プレイモード画面を表示させ（24ページ）、[プログラム]を選択します

2. [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押します

3. プログラムしたいタイトル/チャプター/トラックを選択して、決定ボタンを押します

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4. 手順３を繰り返して、他のタイトルなどを入力します

ステップの間にプログラムを追加したいときは

①プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせます。

②追加するタイトルなどを選択して決定ボタンを押します。

追加した箇所にあったタイトルなどは、新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除したいときは

①削除したいプログラムステップにカーソルを合わせます。

②クリアボタンを押します

プログラムが削除され、その後ろにあったタイトルなどが１つ前に繰り上がります。

5. ►ボタンを押します

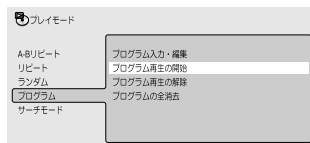
プログラムした順に再生を開始します。

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。
▼ プログラム再生中にプレイモード画面の[**リピート**]から[**プログラムリピート**]を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**
▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。

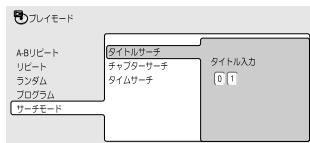
注 意

◆ プログラム再生できないディスクもあります。
◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには

● **プログラム再生の開始**
すでにプログラムされている内容を始めから再生します。

● **プログラム再生の解除**
通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。

● **プログラムの全消去**
プログラムされている内容をすべて消去します
(CD(R/RW)のみ停止中にクリアボタンを押して消去することもできます)。

見たい場面を探す（サーチモード）

1. プレイモード画面を表示させ（24ページ）、[サーチモード]を選択します

2. サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押します

- **タイトルサーチ**
- **タイムサーチ**
  （Video CD CD(R/RW) では、再生中のトラック内の時間を、DVD-Video DivX® では再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。）
- **チャプターサーチ**
- **トラックサーチ**
  サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3. 数字（0～9）ボタンで再生したいタイトル / チャプター / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押します

指定したタイトル / チャプター / トラックまたは時間から再生を開始します。

タイムサーチを選択したとき
21分43秒を再生するには、**2,1,4,3**を押して、**決定ボタン**を押します。
1時間4分（64分00秒）を再生するには、**6,4,0,0**を押して、**決定ボタン**を押します。

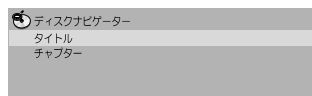
メ モ

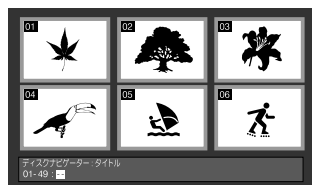
▼ タイムサーチは、再生中のみ選択することができます。

▼ DVD-Video では、ディスクメニューで見たい場面を探す（サーチする）ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください。

▼ DivX® では、タイムサーチのみ選択することができます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

↓

＊ ディスクによって表示内容が異なります。

↓

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ で種類を選択します

DVD-Video	VR DVD-RW	Video CD
タイトル チャプター	オリジナル : タイトル オリジナル : 時間 プレイリスト : タイトル プレイリスト : 時間	トラック 時間

- [時間] を選択すると、10分おきの画像を表示します。

4. 先頭の画面が６枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探します

- ▶▶I **ボタン**を押すと、次の６枚に切り換わります (I◀◀ **ボタン**で戻ります)。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
- **戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5. 数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

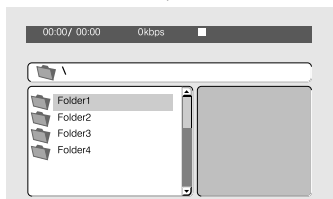
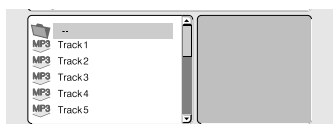
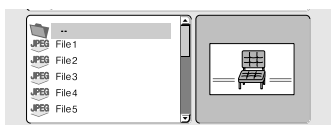
- 番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中はホームメニュー画面を表示することができません。PBC再生を解除してください （34ページ）。

▼ DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。

▼ プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。

▼ 一部の DVD-Video では、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

＊ WMA/MP3 の場合

＊ JPEG の場合

＊ DivX® の場合

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ でフォルダーを選択して、決定ボタンを押します

- 半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー / トラック / ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4. ⇧⇩ で再生したいトラック/ファイル/タイトルを選択します

- JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- ⇦ ボタンを押すと、上の階層に戻ります。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

5. 決定ボタンを押します

- 選択したトラック/ファイルから再生を開始します。
- JPEG では、画像が次々に表示されます(スライドショー)。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。

4

いろいろな機能を使う

メ モ

- ▼ WMA/MP3 JPEG DivX® では、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- ▼ (フォルダー) - - を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。
- ▼ ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

画像を拡大する(ズーム)

＋

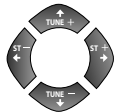
1. シフト+ズームボタンを押します

•ズームエリア(拡大する場所)が表示されます (JPEG を除く)。⇧ ⇩ ⇦ ⇨ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。

•押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と切り換わります。

メ モ

▼ JPEG では ► **ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

画像を回転 / 反転させる

1. ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ を押します

⇨ ー 押すたびに画像が時計回りに 90゜回転します。
⇦ ー 押すたびに画像が反時計回りに 90゜回転します。
⇧ ー 画像の上下が反転します。
⇩ ー 画像の左右が反転します。

メ モ

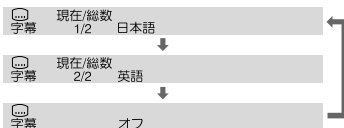
▼ 通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

字幕を切り換える

DVD-Video

＋

1. 再生中にシフト+字幕ボタンを押します

•押すたびに字幕が切り換わります。

字幕が収録されていないときは［– / –］が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた字幕の設定は、リジューム機能（10 ページ）を解除したとき、またはディスクを取り出したときに初期設定（47 ページ）に戻ります。

▼ DVD-Video によっては**字幕ボタン**で字幕を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください。

音声を切り換える

＋
1. 再生中にシフト＋音声ボタンを押します

押すたびに音声が切り換わります。

例
- Video CD CD(R/RW) では、ステレオ、1/L（左）、2/R（右）が切り換わります。
- 二カ国語で記録された VR DVD-RW では、主、副、主／副音声が切り換わります。

メ モ

▼ DVD-Video によっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください。
▼ ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
▼ ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能（10ページ）を解除したとき、またはディスクを取り出したときに初期設定（47ページ）に戻ります。
▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは62、65ページをご覧ください。

＋
1. シフト＋アングルボタンを押します

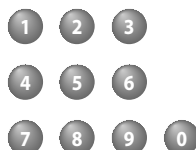
•現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。
押すたびにアングルが切り換わります。

メ モ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(48ページ)
▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

4
いろいろな機能を使う

メニュー画面から再生する(PBC 再生)

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1. PBC再生対応ディスクを入れ、►ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページを進める、または戻すには

メニュー画面を表示中に ►►| または |◄◄ ボタンを押します。

メニュー画面のページを出さずに再生するには(PBC再生を解除して再生する)

停止中に►►|または|◄◄ボタンで選択します。また停止中に数字(0～9)ボタンで選択して、決定ボタンを押すことでも解除して再生することができます。

ディスクの情報を見る

表示切換

1. 再生中に表示切換ボタンを押します

ディスクの経過時間や残量などを表示します。

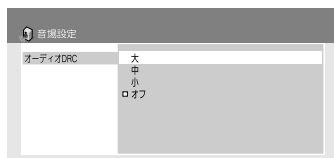
例）

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声 1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 2. 日本語		アングル 1	

ディスクによっては、**表示切換ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。**表示切換ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(上記参照)。

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整する

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [音場設定]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩⇦⇨と決定ボタンを使って、項目を設定します

オーディオ DRC
オーディオ DRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生することができます。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更すると効果的です。
•**大、中、小、オフ** (お買い上げ時の設定)

4. ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了します

メ モ

▼ オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
▼ オーディオDRCの効果は、音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

画質を調整してより見やすくする

項目によって設定画面が異なります。

例 1

例 2

ブライトネス　min　IIIIIIIII..........　max　0

＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

2. **[画質調整] を選択して、決定ボタンを押します**

3. **⇧⇩⇦⇨ と決定ボタンを使って、各項目を設定します**

シャープネス
画像の鮮明度を調整します。
•**ファイン、標準** (お買い上げ時の設定)、**ソフト**

ブライトネス
画面の明るさを調整します。
•**－ 20 ～＋ 20** (お買い上げ時の設定：**0**)

コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
•**－ 16 ～＋ 16** (お買い上げ時の設定：**0**)

ガンマ
画像の暗い部分の見えかたを強調します。
•**大、中、小、オフ** (お買い上げ時の設定)

色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。
•**緑 9 ～赤 9** (お買い上げ時の設定：**0**)

色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
•**－ 9 ～＋ 9** (お買い上げ時の設定：**0**)

4. **ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了します**

メ モ

▼ ディスクやテレビ（モニター）によっては効果がはっきりしないことがあります。

サラウンド再生を楽しむ

本機で最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためのステップは以下のとおりです。

音源と音声出力について

音源

CDやDVDに収録されている音声、ラジオの音声、または外部入力端子に接続した機器の音声を音源といいます。音源には、ステレオ音声とマルチチャンネル音声があります。

- **ステレオ音声**
  右と左の2チャンネルが収録された音声です。主に CD(R/RW) やラジオ放送などで使われています。右と左に同じ音声が収録されているときはモノラル音声といいます。
- **マルチチャンネル音声**
  ステレオ音声より多くのチャンネルが収録された音声です。音声収録方式にはドルビーデジタル、DTS があります。主に DVD-Video などで使われています。

音声出力

スピーカーから出力する音声です。本機には 2 つの音声出力があります。

2.1ch (ステレオ音声出力)

フロントスピーカー(右/左の2チャンネル)とサブウーファー(低音専用なので0.1チャンネルと呼ばれています)から音声を出力します。センタースピーカーからは音声を出力しません。

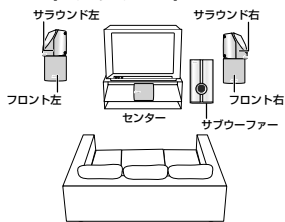
5.1ch (サラウンド音声出力)

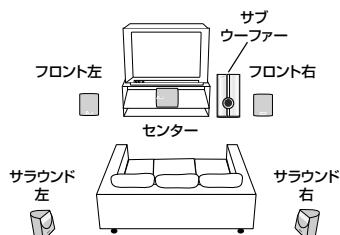
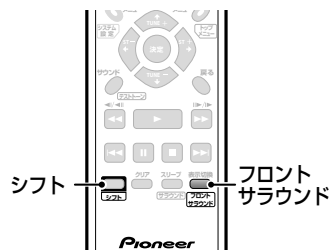
フロントスピーカー(右/左の2チャンネル)、センタースピーカー(1 チャンネル)、およびサラウンドスピーカー(右/左の 2 チャンネル)の合計 5 チャンネルと、サブウーファー(0.1 チャンネル)から音声を出力します※。音源がステレオ音声やモノラル音声でも、センターおよびサラウンドの音声を作って出力できます。

※音源によっては、サラウンドスピーカーから音声が出力されないことがあります。また、センタースピーカーからのみ音声が出力されることがあります。

フロントサラウンドモードを選択する

本機では、スピーカーの設置方法に合わせて、フロントサラウンドモードをオン/オフする必要があります。お買い上げ時は、MODE ON に設定されています。

フロントサラウンド 3SPOT 設置の場合

フロントサラウンドモードをオンにします。

ノーマルサラウンド 5SPOT 設置の場合

フロントサラウンドモードをオフにします。

1.

シフト+フロントサラウンドボタンを押します

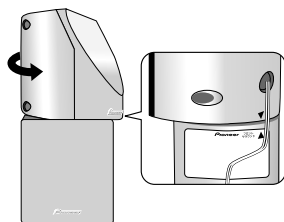
- フロントサラウンド
  モードオン（MODE ON）

MODE ON

- フロントサラウンド
  モードオフ（MODE OFF）

MODE OFF

注 意

◆ フロントサラウンドモードがオンのときはサラウンドスピーカーを外側へ60°の向きになるよう調節してください。サラウンドスピーカーの▼印を、フロントスピーカーのラベルの「フロントサラウンド」▲印の位置に合わせてください。別添のシステムセットアップガイド（裏面）もあわせてご覧ください。

サラウンド右の場合

サラウンドモードを選択する

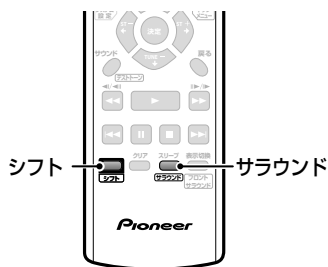
- **オート（AUTO） 2.1ch 5.1ch**
  音声を加工せず、収録されている音声を忠実に再現します。
  CD(R/RW)などのステレオ音声は「STEREO(ステレオ)」2.1chで出力します。
  DVD-Videoなどのマルチチャンネル音声は音声収録方式に応じて5.1ch で出力します。

- **ドルビープロロジック（PROLOGIC）5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します(ただしサラウンドチャンネルの音声はモノラルになります)。
  特にドルビーサラウンドで収録されている音源に効果的です。

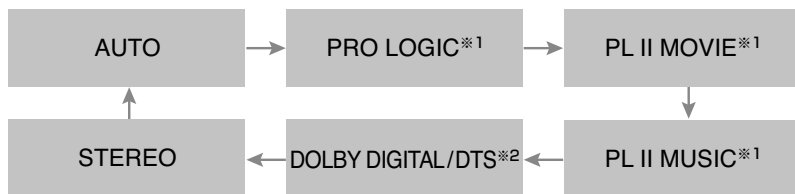
- **ドルビープロロジック II ムービー（MOVIE）5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します。サラウンドチャンネルは定位や移動感を重視し、ドルビーデジタルなどに迫る音場を再現します。
  特にドルビーサラウンドで収録されている映画ソフトに最適です。

- **ドルビープロロジック II ミュージック（MUSIC）5.1ch**
  ステレオ音声を5.1ch で出力します。サラウンドチャンネルは包囲感を重視しています。
  特にCD(R/RW)などの音楽に最適です。

- **Dolby Digital/DTS**
  DVD-Videoのマルチチャンネル音声を音声収録方式に応じて5.1ch で出力します(「AUTO(オート)」でマルチチャンネル音声を再生したときと同じ効果になります)。

- **ステレオ（STEREO） 2.1ch**
  ステレオ音声をそのまま出力します。
  マルチチャンネル音声も 2.1chで出力します。

1. **シフト＋サラウンドボタンを押します**

押すたびに、以下のように切り換わります。

AUTO → PRO LOGIC※1 → PL II MOVIE※1 → PL II MUSIC※1 → DOLBY DIGITAL/DTS※2 → STEREO → AUTO

※１　音源がステレオ音声のときのみ選ぶことができます。
※２　音源がマルチチャンネル音声のときのみ選ぶことができます。

メモ

- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ステレオ（STEREO）モードになります。
- ▼ ラジオや外部機器からの入力音声はステレオ（STEREO）モードになります。
- ▼ サラウンドモード表示中に⇧⇩ **ボタン**を押すことでモードを切り換えることもできます。

Q&A

Q ：サラウンドやセンタースピーカーから音が出ない！または、音が小さくて物足りない！

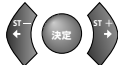
→ **シフト＋サラウンドボタン**、**サウンドボタン**を押して、各モードをお試しください。

→ **シフト＋テストトーン**で、各スピーカーからの再生音を調整することができます。（8ページ）

高音と低音を調整する

高音（TREBLE）と低音（BASS）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "BASS" か "TREBLE" を選択して、決定ボタンを押します

- 低音の音質を調整します

BASS

- 高音の音質を調整します

TREBLE

3. ⇧ ⇩ で音質のレベルを調整します

調整範囲は、±３までです。

4. 決定ボタンを押します

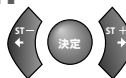
メモ

▼ 高音 / 低音の調整を行うと、SFC モードは OFF になります。
▼ 録音モードをオンに設定しているときは、選択できません。

SFC（サウンドフィールドコントロール）モード

再生するソフトのジャンルに合わせて選択することで、ソフトにあった音場でサウンドを楽しむことができます。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "SFC MODE" を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧ ⇩ で最適なモードを選択して、決定ボタンを押します

- アクション（ACTION）
- ドラマ（DRAMA）
- ロック（ROCK）
- ポップ（POP）
- ホール（HALL）
- ライブ（LIVE）
- オフ（OFF）

メ モ

▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、選択できません。
▼ SFCモードの選択を行うと高音と低音の音質レベルは強制的に0になり、バスモードもOFFになります。
▼ 録音モードをオンに設定しているときは、選択できません。

低音を強調する

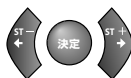
低音だけを強調して迫力ある低音で再生します。音楽の低音再生に適したMUSICモードと、映画の重低音再生に適したCINEMAモードのいずれかを選ぶことができます。

1.

サウンドボタンを押します

2.

⇦ ⇨ で"BASS MODE"を選択して、決定ボタンを押します

3.

⇧ ⇩ で最適なモードを選択して、決定ボタンを押します

- 通常の音質

OFF

- 重低音を補正して、臨場感を増やした設定で、音楽ライブのソフトにおすすめです。

MUSIC

- MUSICよりもさらに低音を強調した設定で、アクションシーンや戦闘、爆発音の多い映画ソフトにおすすめです。

CINEMA

メ モ

▼ 再生しているソースによっては、CINEMAやMUSICに設定しているとサブウーファーの音が歪んでしまうことがあります。このようなときはOFFに設定してください。
▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、選択できません。
▼ 録音モードをオンに設定しているときは、選択できません。
▼ バスモードの設定を行うと、SFCモードはOFFになります。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利です。

1. スリープ

スリープボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

- **スリープオート(SLP AUTO)**
CD、DivXの再生中またはVIDEO CDでPBCをオフで再生中に選ぶことができます。
再生が終了して、本機が停止してから約１分後に自動的に電源が切れます。

SLP　AUTO

- **スリープオン(SLP ON)**
約1時間後に電源が切れます。

SLP　ON

- **スリープオフ(SLP OFF)**
スリープタイマーを解除します。

SLP　OFF

2. 決定

決定ボタンを押します

スリープタイマーが設定されると、が点灯します。

メモ

▼ SLP ON を設定後に、スリープボタンを再度押すと、電源が切れるまでの時間を確認することができます。

SLP - - - - -

▼ 電源が切れるまでの時間を確認している間に、上記手順１～２を行うことで、スリープタイマー設定を変更することができます。

注 意

◆ スリープ動作中は表示が暗くなります。
◆ スリープオートはリピートを設定していると選択することができません。

1. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

2. **[初期設定]を選択して、決定ボタンを押します**

ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. **⇧ ⇩ ⇦ ⇨ と決定ボタンを使って、各項目を設定します**

●：お買い上げ時の設定

映像出力

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。	●**4:3(レターボックス):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9 の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で 16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3（パンスキャン）**：従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして 4:3 の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。**この設定はディスクが対応していないとできません。** ○**16:9：**ワイド（16:9）テレビと接続したとき。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

＊画面の比率（アスペクト比）の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

D2 映像出力

D1/D2映像端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。

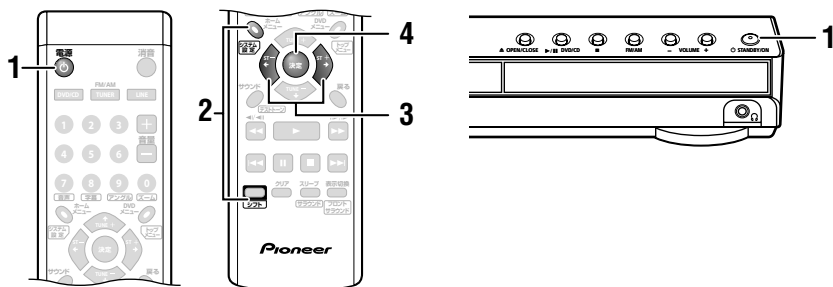
○**プログレッシブ**：プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。

●**インターレース**：プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。

➡ **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。

注 意

◆ プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続（55ページ）しているときは、**[プログレッシブ]を選択しないでください。正常な映像が出力されません。選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**

1. 本機を待機（スタンバイ）状態にします

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押します。

2. シフト+システム設定ボタンを押します

以下のように表示されます。

INTER L

3. 決定ボタンを押します

電源がオンになり、映像出力が**[インターレース]**になります。

●本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙)。

*** 本機と互換性が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)**

PDP-505HDL、PDP-505HDS、PDP-435HDL、PDP-435HDS、PDP-435SX、PDP-615PRO、PDP-434BX、PDP-434TX、PDP-434HD、PDP-502HD、PDP-503HD、PDP-504HD、PDP-433HD-U、PDP-433HD-S、PDP-434HD-W、PDP-504HD-W、PDP-503PRO、PDP-A503HD、PDP-A433HD-U、PDP-A433HD-S、PDL-30HD

●：お買い上げ時の設定

言語

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語**：日本語にするとき。 ○**英語**：英語にするとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の音声を選びます。（50 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 ▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語**：日本語にするとき。 ○**英語**：英語にするとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の字幕を選びます。（50 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 ▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVD メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動**：**[字幕言語]**で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語**：日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英語**：英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の言語を選びます。（50 ページ）
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン**：字幕を表示するとき。 ○**オフ**：字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

●：お買い上げ時の設定

表示

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ English：操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク（🎥）を表示する / しないを設定します。	●**オン**：テレビ画面に🎥マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に🎥マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含む DVD ビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルを小さくしておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	◆**暗証番号** ◆**レベル変更** ◆**国 / 地区コード** ➡ **暗証番号を登録するには** ①**[暗証番号]を選んで決定ボタンを押します** ②**数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** ▼ 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して、再度設定してください（73 ページ）。 ▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ▼ 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されていることがあります。このときは、暗証番号を入力しないと再生することができません。

➡ 暗証番号を変更するには

①[暗証番号変更]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③数字（0～9）ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押します

➡ レベルを変更するには

①[レベル変更]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③レベルを選んでから、決定ボタンを押します

➡ 国 / 地区コードを変更するには

国 / 地区コード表（52 ページ）を見ながら操作してください。

①[国コード]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③数字（0～9）ボタンで[コード]、または ⇧ ⇩ で[国 / 地区コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

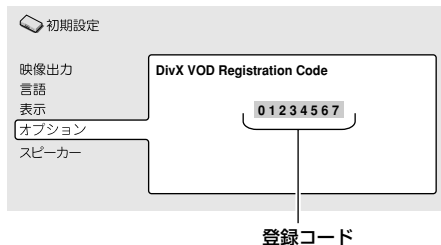
▼ 国/地区コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DivX VOD

DivX VOD フォーマットで記録されたファイルを本機で再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Displayで確認した登録コードをお使いください。

◆ Display

➡DivX VOD 登録コードを確認するには

①[DivX VOD]を選択し、⇨ ボタンを押します。
②[Display]を選択して決定ボタンを押します。

メモ

▼ DivX VOD フォーマットで記録されたファイルはDRMコピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
▼ 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると「Authorization Error」と表示され再生することができません。

注 意

◆ DivX VOD ファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴回数がOSD画面に表示されます。残りの視聴回数が0のファイルを本機が読み込むと「Rental Expired」と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていない DivX VOD ファイルについては、OSD 画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

言語の設定でその他の言語を選んだとき

言語コード表（52 ページ）にある 136 言語の中から選ぶことができます。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

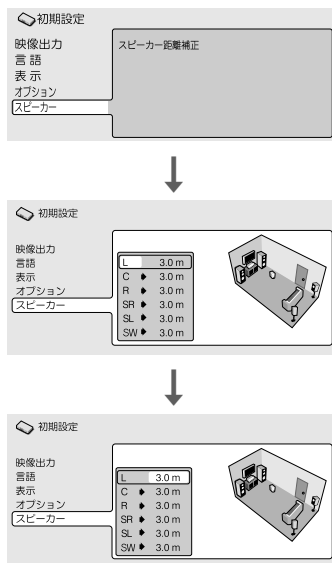
1. [その他の言語]を選択して、決定ボタンを押します

2. ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ボタンまたは数字ボタンを使って[言語表]または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものもあります。詳しくは言語コード表（52 ページ）をご覧ください。

●：お買い上げ時の設定

スピーカー

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差に生じる音のタイミングのズレが補正され、リスニングポジションで適切な音場効果を得ることができます。

1. **[スピーカー]から[スピーカー距離補正]を選択して、決定ボタンを押します**

2. **⇧⇩でスピーカーを選択して、⇨で右に移動します**

3. **⇧⇩でスピーカーの距離を設定します**

他のスピーカーを選択する場合は、⇦で左に移動して、手順２を繰り返します。
● 3.0m

フロントスピーカー
0.3m～9.0mの間を0.3m間隔で設定できます。

センターおよびサブウーファー
フロントスピーカーに対して、0m～2.1mの間で設定できます。

サラウンドスピーカー
フロントスピーカーに対して、0m～6.0mの間で設定できます。

4. **決定ボタンを押します**

[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

メ モ

▼ フロントサラウンド3SPOT設置の場合には、サラウンドスピーカーの距離はフロントスピーカーと同じ距離にしてください。
▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、センターおよびサラウンドスピーカーの距離設定はできません。
▼ サラウンドモードがSTEREOのときは、センターおよびサラウンドスピーカーの距離設定はできません。
▼ 録音モードをオンに設定しているときは、センター、サラウンドスピーカーの距離設定はできません。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国／地区コード表

国名／地区名, **入力コード, 国／地区コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

スピーカー出力レベルの調整

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。入力をDVD/CDに切り換えてから、以下の操作を行ってください。

再生しているディスクで調整する

1. お好みのディスクを再生します

2. シフト＋システム設定ボタンを押します

＋

システム設定

3. ⇦ ⇨ で、"CH LEVEL" を選択して、決定ボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で、出力レベルを調整するチャンネルを選択します

5. ⇧ ⇩ で、各チャンネルの出力レベルを調整します

TUNE ＋

チャンネルレベルは、±10dBの範囲で調整できます。

6. 手順4から5を繰り返して各スピーカーのレベルを調整します

7. 決定ボタンを押します

メ モ

- ▼ サラウンドモードがSTEREOのとき、録音モードをオンに設定しているときは、センターおよびサラウンドチャンネルの出力レベルを調整することはできません。
- ▼ ヘッドホンを挿入しているときは出力レベルを調整することはできません。

注 意

- ◆ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

表示全体の明るさをかえる

表示の明るさを暗くすることができます。ディマー機能といいます。

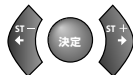
1.

＋
シフト+システム設定ボタンを押します

2.

⇦⇨ で "DIMMER" を選んでから、決定ボタンを押します

DIMMER

3.

⇧⇩ でお好きな明るさを選択して、決定ボタンを押します

暗い設定

DARK

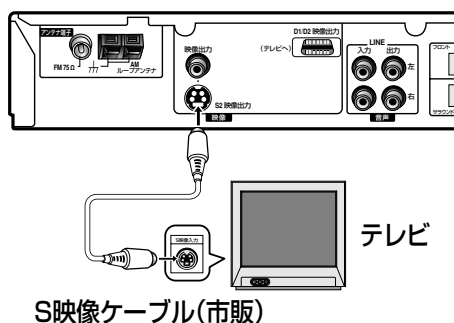
通常の明るさの設定

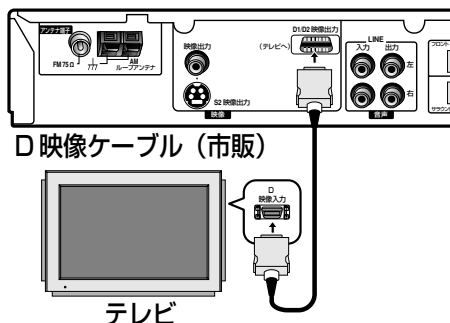
LIGHT

より鮮明な映像でテレビを見るための接続

別紙の「システムセットアップガイド」では、付属の映像ケーブルを使用した接続方法でしたが、以下の接続を行うと、より鮮明な画像でDVDを楽しむことができます。

S 映像入力端子付きテレビの場合

市販のS映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像です。

D 映像入力端子対応のテレビの場合

市販のD映像ケーブルで接続します。本機の高品位な映像品質を楽しむときに最も適した接続です。本機の**D1/D2 映像出力端子**は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

メ モ

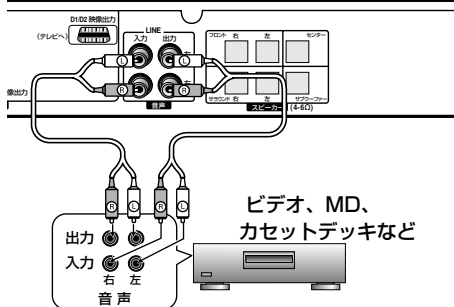
▼ プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続しているときは、映像の出力方式を[**インターレース**]に設定してください。[**プログレッシブ**]に設定してしまうと映像が乱れる場合があります。（45 ページ）

ビデオやカセットデッキなどを本機で聞くための接続

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。これにより、接続した機器で本機の音声を録音したり、接続した機器を本機のスピーカーから聞いたりすることができます。

接続のしかた

本機の**LINE入力端子**と接続機器の出力端子、本機の**LINE出力端子**と接続機器の入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには

LINE　**LINEボタンを押します**

カセットなどのアナログ機で本機の音声を録音するには

本機の**LINE出力端子**から出力される音声を録音する場合は下記の手順に従って録音モードをオンに設定してください。
オフに設定されていると、本機を操作したときにLINE出力音声が途切れたまま録音されてしまうことがあります。
録音モードがオンのときは以下の設定を行うことができません。

・サラウンド　・SFCモード
・バスモード　・フロントサラウンド
・テストトーン　・高音/低音の調整

1. サウンド　**サウンドボタンを押します**

2.

⇦ ⇨ で"REC MODE"を選択して、決定ボタンを押します

REC MODE

3. **⇧ ⇩ で"MODE ON"または"MODE OFF"にします**

TUNE ＋　オンにするとき

MODE ON

TUNE －　オフにするとき

MODE OFF

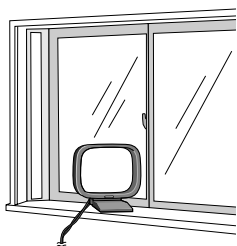
4. 決定　**決定ボタンを押します**

メモ

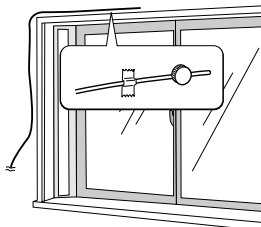
- ▼ ドルビーデジタルとDTSのマルチチャンネル音声を再生しているときに録音モードをオンに設定すると、LINE出力端子からはサラウンドエンコード(Lt/Rt)ダウンミックスされた音声が出力されます。その音声をドルビープロロジックデコーダを搭載した機器で再生する場合に適しています。
  この場合、スピーカーからもダウンミックスされた音声が出力され、サラウンドおよびセンタースピーカーからは音声が出力されません。
- ▼ マルチチャンネル音声を再生しているときに、録音モードをオフに設定すると、LINE出力端子からはフロントスピーカーの音声だけが出力されます。
- ▼ 本機の入力を切り換えたり、電源をオフにすると録音モードは自動的に「OFF」になります。

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

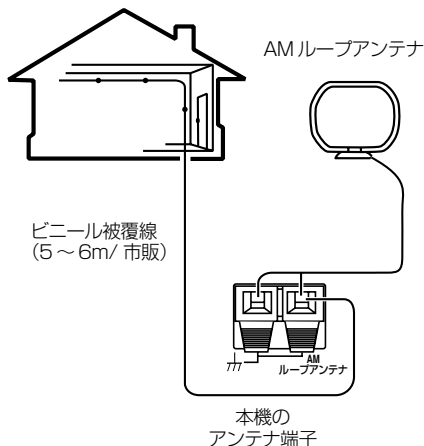
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

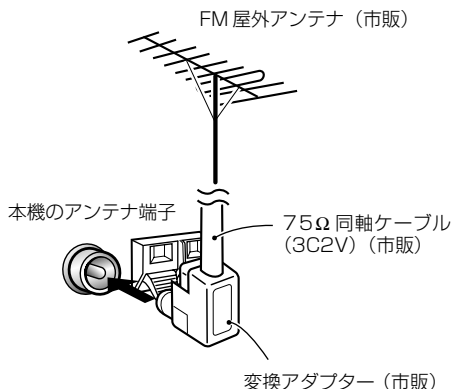
FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼り付けます。

- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。より良い受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R ディスクを再生することができます。
- MP3/WMA/JPEG が記録された DVD-R を再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

DVD-RW ディスクの再生について

- 本機は DVD ビデオフォーマット、または VRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- MP3/WMA/JPEG が記録された DVD-RW を再生することはできません。
- ファイナライズしていない DVD ビデオフォーマットの DVD-RW ディスクを再生することはできません。
- DVD レコーダーで編集(シーン消去など)をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVD ビデオフォーマット記録、および VR モードでの記録については 66 ページもあわせてご覧ください。
VR モードで記録できるディスクは DVD-RW だけです。また、VR モードで記録された DVD-RW を本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、MP3やWMAの音楽データ、または JPEG の静止画像が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（65 ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 1 枚のディスクに最大 299 フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で 648 まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media™ のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

- Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7, 7.1, Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- DRM コピープロテクト(保護)のかかったWMA ファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMA ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(65ページ)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 1 枚のディスクに最大 299 フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が3072×2048ピクセル以下のベースライン JPEG ファイル、およびExif 2.2 *4 (65ページ)に準拠した JPEG ファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で 648 まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

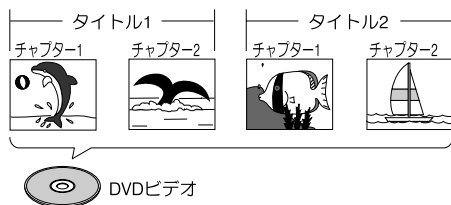
DivX の再生について

- 本機は DivX® に正式認証された製品です。
- DivXとはDivXNetworks, Inc.のDivX® ビデオコーディング方式によるデジタルビデオ圧縮技術です。
- 本機では CD-R/RW/ROM ディスクに記録されたDivXファイルを再生することができます。
- DivX ファイルは DVD ビデオのようにファイルを「タイトル」と呼びます。DivX ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、CD-R/RWに記録する際はタイトル名のつけ方にご注意ください。
- DivX® 規格に準拠した DivX® 5、DivX® 4、DivX® 3、DivX® VODビデオフォーマット(コンテンツ)を本機で再生することができます。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子がついたDivXファイルのみ再生することができます。「.avi」という拡張子はMPEG4に準拠していますが、MPEG4 の中でも DivX ファイルでない場合があります。その場合は本機では再生することができませんのでご注意ください。
- DivX、DivX Certified、およびそれらの関連ロゴはDivXNetworks, Inc.の登録商標であり、ライセンス契約に基づく使用許可を受けています。

注 意

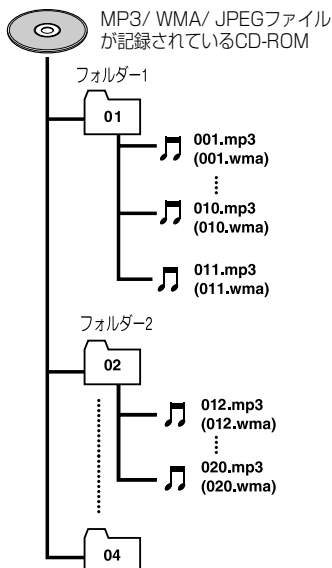
- ◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- ◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ◆ パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。
- ◆ 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

WMA/MP3/JPEGについて

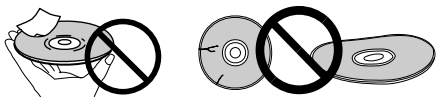
WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

DVD/CD ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

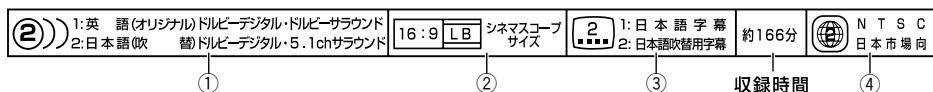
レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、**「保証とアフターサービス」**（74 ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

その他 11 DVDのディスクジャケットについて

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ（DVD-VIDEO）のディスクジャケットの例

② 1:英　語(オリジナル)ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2:日本語(吹　替)ドルビーデジタル・5.1chサラウンド	16：9 LB シネマスコープサイズ	2 1:日本語字幕 2:日本語吹替用字幕	約166分	② NTSC 日本市場向
①	②	③	収録時間	④

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、33、47 ページをご覧ください)。
上記の場合、英語音声はドルビーサラウンド（ドルビープロロジックサラウンド）で、日本語音声は5.1ch のドルビーデジタルサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(44 ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、32、47 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号（リージョンナンバー）**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンナンバー）が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は２番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます（33 ページ）。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の３つが現在主流となっています。

ドルビーデジタルとは. . DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド) で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

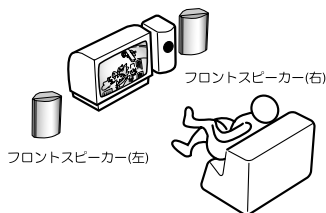
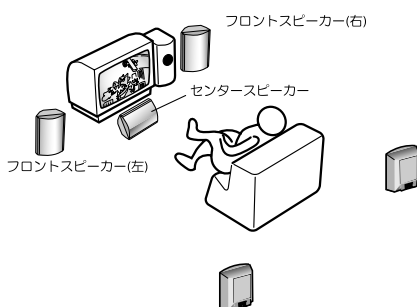
DTS* とは..

DIGITAL dts SURROUND

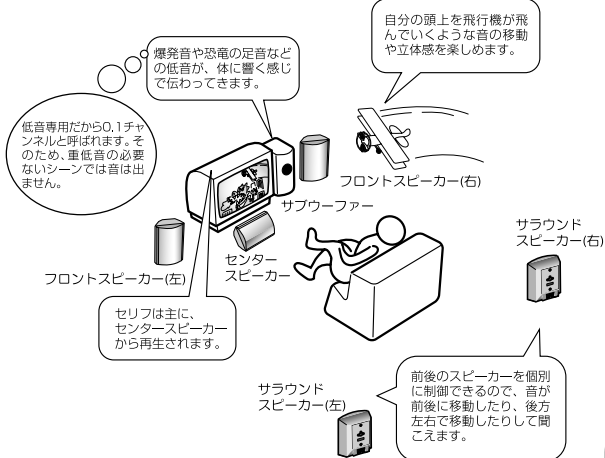
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル･サラウンド録音再生方式です。DTSデジタル･サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートライブなどを収録したDVD ビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは..**
  左右２つのスピーカーとサブウーファーから別々の音声を再生することです。DVD ビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD（ステレオ 2ch で録音されています）は、５本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても､音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

- **ドルビープロロジックサラウンド再生とは..**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、５本のスピーカーとサブウーファーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音（モノラル）で再生されます。（ドルビープロロジック II の場合は、ステレオで再生されます。）

- **ドルビーデジタル 5.1ch または DTS サラウンド再生とは..**
  ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）または DTS サラウンドで記録されているソフトを、５本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch 独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

*** “DTS” および “DTS Digital Surround” は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。*

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて（525iなど）表記します。

映像出力（コンポジット）
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しない限り再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

デコード
ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AACなどの圧縮されたデジタル信号を解凍して再生することです。

ドルビープロロジックサラウンド再生
2chサラウンド信号や2chステレオ信号をドルビープロロジック回路を通し、マルチチャンネルサラウンドで再生することです。2chサラウンド信号については圧縮された信号を忠実にデコード（再生）し、2chステレオ信号については2チャンネル分の信号からセンター、サラウンドチャンネルの信号を作り出します。ただし、この再生方式ではサラウンドチャンネルはモノラルであるため、左右のサラウンドスピーカーからは同じ音声が出力されます。

ドルビープロロジックⅡサラウンド再生
ドルビープロロジックⅡは、ドルビープロロジックをさらに改良し、ステレオ音声を5.1chに拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン5chを作り出します。CDのような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。

■プロロジックとプロロジックIIの違い

	プロロジック	プロロジックII
効果的なソース	ドルビーサラウンドエンコード処理されたステレオ音声	すべてのステレオ音声
デコードチャンネル数	4.1ch (サラウンドモノラル)	5.1ch (サラウンドステレオ)
周波数特性	サラウンド7kHz帯域制限	全チャンネルフルバンド

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて（525pなど）表記します。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDビデオの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

マルチチャンネルサラウンド再生
3本以上のスピーカーでサラウンド再生することです。音声信号が3チャンネル以上の録音方式で記録されているソフトについてはソフトに忠実に再生します。なかでも5.1chサラウンド信号の再生については、左右のサラウンドスピーカーからもそれぞれ異なる音声が出力されるので、ドルビープロロジックサラウンド再生に比べ、より立体感のある音場で迫力のある臨場感がお楽しみいただけます。

リージョンNo. 2 ALL
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DivX
DivXとはDivXNetworks, Inc.のDivX® ビデオコーディング方式によるデジタルビデオ圧縮技術です。「.avi」または「.divx」という拡張子のついたファイルをDivXファイルとよびます。

DRMコピープロテクト
DRM(Digital Rights Management)コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質に録画するモードと、長時間録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチールカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS（国際電気通信連合: 旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式（画像フォーマット）のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.ｍｐ３」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

PCM
Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない２チャンネルステレオデジタル音声です。CDのデジタル音声はほとんどこの方式です。DVDの音声記録方式のひとつでもありますが、CDのサンプリング周波数が44.1kHzであるのに対し、ＤＶＤのサンプリング周波数は48kHzや96kHzと高いので、DVDの方がより高音質の音声を楽しめます。

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。（*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU（OS）が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。）
パイオニアのＤＶＤレコーダーではこれをＶＲモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA
「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、7, 7.1, Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH

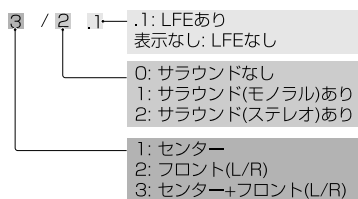
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CHの場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1 *2 = 0.1CH]

*1: 重低音強調効果の意

*2: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。

こんな表示が出たときは

操作中に点滅表示が出たときは、以下をご覧ください。("EXIT"は点灯表示)

(本体表示部) **REC MODE**

56ページで録音モードがオンに設定されているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

・サラウンド
・フロントサラウンド
・テストトーン

(本体表示部) **MUTING**

ミューティング中にテストトーンボタンを押すと表示されます。

(本体表示部) **EXIT**

各種メニューを設定中に、その操作ができないような状態になったときに表示され、そのあと通常表示に戻ります。

(本体表示部) **TRAYLOCK**

ディスクテーブルがロックされています。**▲OPEN/CLOSE ボタン**を約８秒押して、「LOCK OFF」を表示させると、ディスクテーブルを開閉することができます。

(本体表示部) **SND. DEMO**

デモモードに入っています。本体の**■ボタン**を約５秒間押し続けてください。ディスクテーブルが自動的に開いてデモモードが解除されます。

(本体表示部) **CANNOT**

禁止されている操作を行うと表示されます。
・ヘッドホンプラグを差している時のテストトーン、サラウンド、フロントサラウンド
・TUNER または LINE 入力時のテストトーン
・ディスク再生中のテストトーン

(本体表示部) **STEREO**

TUNERまたはLINE入力時に、サラウンドボタンを押すと表示されます。

(本体表示部) **EEP ERR**

故障の可能性があります。
お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
すべてに共通		
音が出ない。	• すべてのコードが完全に接続されていますか?接続のしかたを参照して、正しく接続してください。 • ミューティング状態になっていませんか?リモコンの消音ボタンを押してください。 • 音量がゼロになっていませんか?音量を調整してください。 • ディスクが汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか? • ヘッドホンが挿入されていませんか?ヘッドホンを抜いてください。	セットアップガイド 16 ページ 16 ページ 61 ページ 17~18 ページ 13 ページ
サラウンドまたはセンタースピーカーから音が出ない。 テストトーンが出ない。	• スピーカーは正しく接続されていますか?もう一度接続を確認してください。 • ステレオ音声のディスクを再生していませんか?サラウンドモードを切り換えてマルチチャンネル再生5.1chにしてください。 • ステレオモードで再生していませんか?すべてのスピーカーから音声やテストトーンを出力したいときは5.1chのモードを選択してからもう一度やり直してください。 • 録音モードがオンになっていませんか?オフにしてください。 • TUNER または LINE 入力になっていませんか? DVD/CD 入力に切り換えてください。 • チャンネルの出力レベルは調整されていますか?出力レベルを調整してください。	セットアップガイド 39 ページ 8, 39ページ 56 ページ 10 ページ 53 ページ
設定した内容が消えてしまった。	• 本体の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの⏻電源ボタンを押して、表示窓の[GOOD BYE]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットから電源コードを接続しているときはご注意ください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD/CD関係		
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	• 本体の内部が結露していませんか?しばらく放置してください。 • 一度、■ボタンを押してから、もう一度再生してください。	**76ページ**
ディスクテーブルを閉めても出てきたり、再生ができない。	• ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクはディスクテーブルに正しくセットされていますか？ディスクを正しくセットしてください。 • リージョンNO.は一致していますか？リージョン「2」か「ALL」のディスクを使用してください。 • ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	**61ページ** **10ページ** **62, 65ページ** **10ページ**
映像が映らない、または正常に出力されない。	• プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続(55ページ)しているときに**[プログレッシブ]**を選択していると映像が正常に出力されません。映像出力方式を**[プログレッシブ]**から**[インターレース]**に変更してください。映像が何も表示されなくなった場合は45ページの注意をご覧になりインターレースに切り換えてください。 • ビデオコードは十分差し込まれていますか？しっかりと差し込んでください。 • 接続しているビデオコードが断線していませんか？ビデオコードを変えて接続してみてください。	**44~45ページ**
DVDの音声や字幕が切り換わらない。	• ディスクには複数の字幕や音声が記録されていますか？DVDディスクのジャケットを確認してください。 • リモコンの音声ボタンや字幕ボタンで切り換わらないDVDディスクがあります。そのときは、DVDのメニュー画面で切り換えてください。	**62ページ** **47ページ**
画面が縦または横に伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	• テレビ画面とのアスペクト比の設定は合っていますか？テレビ画面のアスペクト比の設定をしてください。	**44ページ**
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
WMA/MP3、DivXファイルを記録したディスクを再生することができない。	• 本機に対応したフォーマットのディスクを再生していますか？「再生できるディスクについて」をご確認ください。	**58ページ**

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD と CD で音量差を感じる。	• これはディスクの記録方式の違いによるものです。故障ではありません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
ディスクに記録されているトラック(ＭＰ３ファイル)を選択することができない。	• 本機に対応したフォーマットのディスクを再生していますか？「再生できるディスクについて」をご確認ください。	58 ページ
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナは接続されていますか？アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置は悪くなっていませんか？アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	セットアップガイド セットアップガイド
FM放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部のモノインジケーターが点灯していませんか？"FM MODE" の設定を AUTO にしてください。	21 ページ
外部機器関係		
LINE に接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • LINE ボタンを押してください。	56 ページ 56 ページ
その他		
リモコンがきかない。	• リモコンの電池はなくなっていませんか？新しい電池に換えてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにありませんか？蛍光灯をリモコン受光部から離してください。 • 7m 以内、左右 30°以内で、リモコンを本機に向けて操作してください。 • 本機とリモコンとの間に、信号を遮る障害物がありませんか?障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。	セットアップガイド 13 ページ 13 ページ
電源が入らず何の操作もできない。または突然電源が切れる。	• 電源コードを抜かずに、1分後に再び⏻ 電源ボタンを押して電源を入れてみてください。 • 音量を下げて使用してみてください。 • 上記を行っても症状が改善されないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	
「SND. DEMO」と表示され本機の操作ができない。	• 本体の■ボタンを約５秒間押し続けてください。ディスクテーブルが自動的に開いてデモモードが解除されます。	
動作しない。	• 電源コードが外れていませんか？電源コードを正しく接続してください。	セットアップガイド

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

注 意

この製品はJIS C 6802規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。
分解や改造などは絶対に行わないでください。

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

クラス1
レーザ製品

注意
ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。
ARW7316-A

D3-7-12-5-5_Ja

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の[GOOD BYE]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

初期設定一覧

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国 / 地区コードは日本の設定となっています。

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Font Avenue」を使用しています。Font Avenue は NEC の登録商標です。

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻す

1. **電源がオンになっていることを確認します**

電源がオフのときは、本体の ⏻STANDBY/ON ボタンを押します。

2. FM/AM ＋ ⏻ STANDBY/ON **本体のFM/AMボタンを押したまま ⏻STANDBY/ON ボタンを押します**

電源がオフになります。

3. ⏻ STANDBY/ON **本体の ⏻STANDBY/ON ボタンを押します**

電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、別添の修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

69～71ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD 5.1ch サラウンドシステム
- 型番：HTZ-232DV/HTZ-232FG
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

**長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？**

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

仕様

DVD/CD チューナー部 (XV-DV232/XV-DV232FG)

■ アンプ部

実用最大出力（JEITA）
　フロント、センター、サラウンド
　（1 kHz、10 %、4 Ω）............ 60 W/CH
　（1kHz、10%、6 Ω）.............. 50 W/CH
　サブウーファー
　（100 Hz、10 %、4 Ω）................ 60 W
　（100 Hz、10%、6 Ω）................. 50 W

■ DVD 部（音声）

周波数特性
　48 kHz サンプリング ...... 4 Hz ～ 22 kHz
　96 kHz サンプリング ...... 4 Hz ～ 44 kHz
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

■ DVD 部（映像）

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω負荷時）
出力端子 .... RCA 端子

S2 映像出力
映像 Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C 出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

D1/D2 映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
映像 Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
映像 CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D 端子

■ チューナー部

FM チューナー部
　受信周波数 .... 76.0 ～ 90.0 MHz
　アンテナ .... 75 Ω不平衡型
AM チューナー部
　受信周波数 .... 522 kHz ～ 1,629 kHz
　アンテナ .... ループアンテナ（付属）

■ 電源部

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 45 W
スタンバイ消費電力 .... 0.24 W

■ その他

外形寸法 .... 420 X 60X 331.5 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 3.1 kg
許容動作温度 .... ＋5 ℃～＋35 ℃
許容動作湿度 .. 5 %～ 85 %(結露のないこと)

スピーカーシステム部 (S-DV232/S-DV232FG)

フロントスピーカー
型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
　フルレンジ .... 7.7cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 90 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 60 W（JEITA）
外形寸法 .... 105 X 115X 114 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 0.6 kg

センタースピーカー
型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
　フルレンジ .... 7.7cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 90 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 60 W（JEITA）
外形寸法 .... 115X 105X 114 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 0.6 kg

サラウンドスピーカー
型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
　フルレンジ .... 7.7 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 100 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 60 W（JEITA）
外形寸法 .... 105 X 118 X 114 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 0.63 kg

サブウーファー

型式 .... バスレフ式フロア型
使用スピーカー
　ウーファー .... 16 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 30 ～ 2000Hz
最大入力................................. 60 W（JEITA）
外形寸法................. 190 X 360 X 317 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 4.2 kg

■ 付属品

リモコン 1
AM ループアンテナ 1
FM 簡易アンテナ 1
ビデオコード （1.5 m）................................. 1
単３形乾電池（AA/R6）................................ 2
電源コード.. 1
滑り止めパッド（小）................................... 12
滑り止めパッド（大）...................................... 4
保証書 1
取扱説明書
　本編（本書）
　システムセットアップガイド

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

結露について

● 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。
近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、本取扱説明書の裏表紙の修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします。）
記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区		受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）	
☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西 20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目 438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南 28 丁目 1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町 2-18-7

●東北地区		受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）	
☆仙台サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈 6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波 1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦 1-9-25 クレールアヴェニュー伊藤第 2ビル1FD号
盛岡サービスステーション	FAX　019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原 153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田 2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野 4-3-34
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目 346-1

●関東・甲信越地区（１）		受付　月～土　９：３０～１８：００　（日・祝・弊社休業日は除く）	
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢 4-25-9
墨田サービスステーション	FAX　03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原 4-27-9　中島 IC ハイツ 1F
城北サービスステーション	FAX　03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸 4-11-4
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町 4-18-1　エクセル立川１Ｆ

●関東・甲信越地区（２）		受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）	
新潟サービスステーション	FAX　025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙 1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種 1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町 1369-1　椎の実ハイツ 1F
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町 307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園 2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷 1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町 3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町 1191-17　パサージュ 808 伊勢崎 101号
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南 1-19-17
厚木サービス認定店	FAX　046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田 339-1　金田コーポフロンテア 201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立 180-5　パイオニア松本拠点 1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所 1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田 4-9-14

●中部地区		受付　月～金　９：３０～１８：００　（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）	
☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切 2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田 36-1　大和ビレッジ　B-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水 522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東 1-1-3
静岡サービスステーション	FAX　054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松 1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢 12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町 415　ビラモデルナ５号
金沢サービスステーション	FAX　076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府１丁目 178
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町 1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺 3-5-9

●関西地区		受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
☆大阪サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052　吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076　大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322　堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093　神戸市中央区二宮町１丁目10-1 ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224　姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021　和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービスステーション	FAX　075-352-2588	〒600-8322　京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2 五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132　奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国地区		受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
☆広島サービスセンター	FAX　082-248-9939	〒730-0041　広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-244-8748	〒700-0975　岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061　鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006　周南市花畠町3-11　森広事務所1F

●四国地区		受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078　高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下１階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル１Ｆ
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067　松山市古三津5-10-35　商船ビル１Ｆ

●九州地区		受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
☆福岡サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044　北九州市小倉北区熊本１丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和１丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918　熊本市花立５丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-549-2420	〒870-0851　大分市大石町５丁目1-1
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841　鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル２Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821　宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区（沖縄県のみ）		受付　月～金　９：３０～１８：００（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122　浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター３Ｆ

平成１７年１０月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まる フリーフォン及び「0120」で始まる フリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付時間　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ／ビジュアル商品	■フリーフォン ００７０－８００－８１８１－２２	■一般電話	０３－５４９６－２９８６
■ファックス	０３－３４９０－５７１８		
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/index.html ※商品について良くあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など		

部品のご購入についてのご相談窓口　●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター
受付時間　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００ （弊社休業日は除く）

■電話	０１２０－５－８１０９５	■一般電話	０５３８－４３－１１６１
■ファックス	０１２０－５－８１０９６		

修理についてのご相談窓口　●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター
受付時間　月曜～金曜 ９：３０～１９：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００ （弊社休業日は除く）

■電話	０１２０－５－８１０２８（ゴーバイオニア）	■一般電話	０３－５４９６－２０２３
■ファックス	０１２０－５－８１０２９		
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります		

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付時間　月曜～金曜 ９：３０～１８：００ （土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	０９８－８７９－１９１０
■ファックス	０９８－８７９－１３５２

ＶＯＬ．015

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<ARA7255-A>